

水産物の市況について(令和6年7月及び令和6年8月)

—東京都中央卸売市場における令和6年7月(令和6年6月21日～令和6年7月20日集計)の市況と、
令和6年8月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和6年7月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月から横ばいで推移し、前年同月比ではやや増加で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からやや強含みで推移し、前年同月比でもやや強含みで推移しました。

II 令和6年8月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

小型サイズ主体とみられ、鮮魚サイズの水揚げは少ないことから、東京への入荷量は減少し、卸売価格は強含みで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量はチリ産銀ざけ主体に横ばい、卸売価格はさけ類全般の価格が高値で推移していることから、高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

夏場にかけて低調に経過すると予想されるため、東京への入荷量はやや減少し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

生鮮品の東京への入荷量は横ばい、全国的に水揚量が少ないことから、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。
冷凍物は、入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

盛漁期が過ぎ、今後水揚げは低調に推移するとみられ、東京への入荷量はやや減少し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

例年、8月の竿釣りはお盆で休漁する船がみられるものの、当面は好調な漁獲が続くと予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	6月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
6年	28	1,507	28	1,422	26	1,437
前年	26	1,425	28	1,412	27	1,450

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	7月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	563	126	117	146
さけ類(平均)	1,249	101	105	120
(ぎんざけ塩蔵品)	1,293	107	108	126
(あきさけ塩蔵品)	923	85	99	111
(べにざけ塩蔵品)	1,500	108	98	112
(さけ類冷凍品)	1,231	100	105	120
さば(生鮮品)	563	111	111	129
するめいか(平均)	1,305	103	99	174
(生鮮品)	1,206	101	94	169
(冷凍品)	1,767	100	127	169
あじ(生鮮品)	957	141	107	143
まぐろ(冷凍品)	1,597	94	90	99
(めばち冷凍品)	1,065	95	94	95
(きはだ冷凍品)	1,526	107	103	154
(くろまぐろ冷凍品)	3,162	111	91	99
(みなみまぐろ冷凍品)	1,784	98	79	87
かつお(生鮮品)	591	107	103	114

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:7月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは令和元年～令和5年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 中島、山崎

直通 03-3591-5613